



コロナワクチン対応と経済対策、ふるさと納税について

権田 昌弘 議員



質問 コロナワクチン接種スケジュールは。



答 3月に医療従事者の先行接種を行い、高齢者は4月以降の接種開始、64歳以下の方は、6月以降になると想定しています。

質問 接種会場は、どこを選定したのか。

答 集団接種の会場については、市民体育館と総合福祉センターを予定しています。個別接種については、現在、医師会と調整中です。

質問 接種期間や会場などを含めた課題は。

答 ワクチンの確保量が不明確である。在宅高齢者等の移動手段が十分でない。

接種期間が長期化するおそれがあるなど、多くの課題があります。

質問 東京オリンピック・パラリンピックが開催された場合、観光客をどのように誘致し、本市の経済活動につなげていくのか。

答 日本遺産の認定を受けた両毛3市で連携し、マイクローリズム、GoToキャンペーンなど、誘客ツールを活用するとともに、感染症の状況を十分注視しながら対応準備を進めます。

質問 館林インターチェンジ周辺の開発や活用方法は。

答 企業の進出可能性や開発手法など、具体的に検討を進めています。インターチェンジ周辺のポテンシャルを生かした土地利用を図っていきます。

質問 ふるさと納税にガバメントクラウドファンディングを取り入れる考えは。

答 事業の発案から市民の要望を反映させたメニューができれば、まさに市民との共創を図ることができると考えています。



ふるさと納税のチラシ



たてばやし5つのゼロ宣言 土地区画整理事業の現状と取組について

松本 隆志 議員



たてばやし5つのゼロ宣言
質問 たてばやし5つのゼロ宣言の内容と具体的な取組について伺います。

答 本市の循環型社会を推進する環境基本計画や、温室効果ガス削減に取り組む環境マネジメントシステムの目指す姿が、「ぐんま5つのゼロ宣言」と合致し

必要性について伺います。

答 広報紙やHP、各種イベントを通じ普及を図っています。関心がないと行動には至らないので、伝達方法やキッカケづくりが課題と考えます。今後は学校と連携し、子どもから家庭に周知を図り、店舗等とも連携するなど、目に触れる機会を増やすことで活動を浸透させていきます。

土地区画整理事業の取組

質問 3地区の土地区画整理事業の進捗状況と完成年

度について伺います。

答 西部第一南地区は事業開始から34年経過、進捗率約91%、令和10年度の完成、西部第一中地区は32年経過、同約90%、同9年度の完成、西部第二地区は21年経過、同約45%、同14年度の完成を目指しています。

質問 長期化の原因や、地権者や地域課題に対する対応・取組について伺います。

答 移転対象物件が非常に多く、施行面積も広範囲に亘っていることが長期化

の原因と考えます。未承諾の地権者には、区画整理のメリットを粘り強く説明していきます。年齢や経済的理由で移転に不安を抱える方には、置かれている状況を踏まえ、有利で具体的な解決方法を提示します。

要望 事業期間が何度も延ばされると諦めの気持ちも増えます。地域では、種々な新たな問題も発生しています。回覧やHPだけでなく、地域と密に連携しながら事業を進めてください。